

4

発想は地球規模で、行動は足元から

三重県員弁郡藤原町立藤原中学校

報告者 宮城淳子先生

本校は「発想は地球規模で、行動は足元から」をキャッチフレーズに数年前からパピルス作りを通して環境問題を考え、パピルス和紙ではがき作り、また、サツマイモを作って町の文化祭や農業祭で販売してユニセフに募金をしてきました。

今年も修学旅行で東京のユニセフ協会を訪問し、ユニセフの活動内容や自分たちの寄付金がどのように使われているか

を教えてくださいました。この訪問で世界の現状やユニセフ活動をさらに身近に感じ、訪問内容を壁新聞にして全校、また地域の方がたに向けて展示しました。

さらに、訪問報告会を兼ねた「ユニセフ学習会」を開き、第1部で修学旅行報告会を第2部で標題のテーマで自分たちに何ができるかについて討論会をしました。

全校生徒にユニセフで学んだことを伝え、資料を作ったり、経口補水療法を実



際にやってみせたりしてユニセフ募金活動を活発にしようと呼びかけました。第2部ではこれから私たちが身近なことから地球規模まで、どのようなことをしていくべきか共に考えました。今後も学習会を開いたり、日常のボランティア活動をさらに活発にして世界中の子どもたちが心豊かに暮らせる世界にする手助けができればと本校では考えています。



第1部「修学旅行報告会」の1コマです。第2部 討論会での1コマです。

経口補水療法を実演しています。